

# 令和6年上半期消防統計 (1月～6月)



## 【総論】

### I 119番通報

- 119番通報件数 2,140件。前年同期比 304件増加。
- 通報件数の約6割が救急関係の通報で、件数は1,375件。
- まちがいでの通報が114件、前年同期比 49件減少。

### II 火災

- 火災件数 10件。前年同期比 3件減少。
- 出火原因の半数が焼却行為に起因するもの。
- 損害額 53,926千円、前年同期比 5,296千円の増額。

### III 救急

- 救急出動件数 **1,431**件。前年同期比 **278**件増加。
- 救急搬送人員 1,373人。前年同期比 288人増加。
- ドクターヘリの要請件数は、27件。前年同期比 17件減少。連携件数は、16件。前年同期比 6件減少。

### IV 救助

- 救助出動件数 18件、うち救助活動件数 7件。
- 前年同期比で救助出動件数は同件数、活動件数は 3件減少。

#### 【お問い合わせ】

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部

代表 0767-22-0089 消防総務課・警防課 0767-22-7814 予防課 0767-22-7816

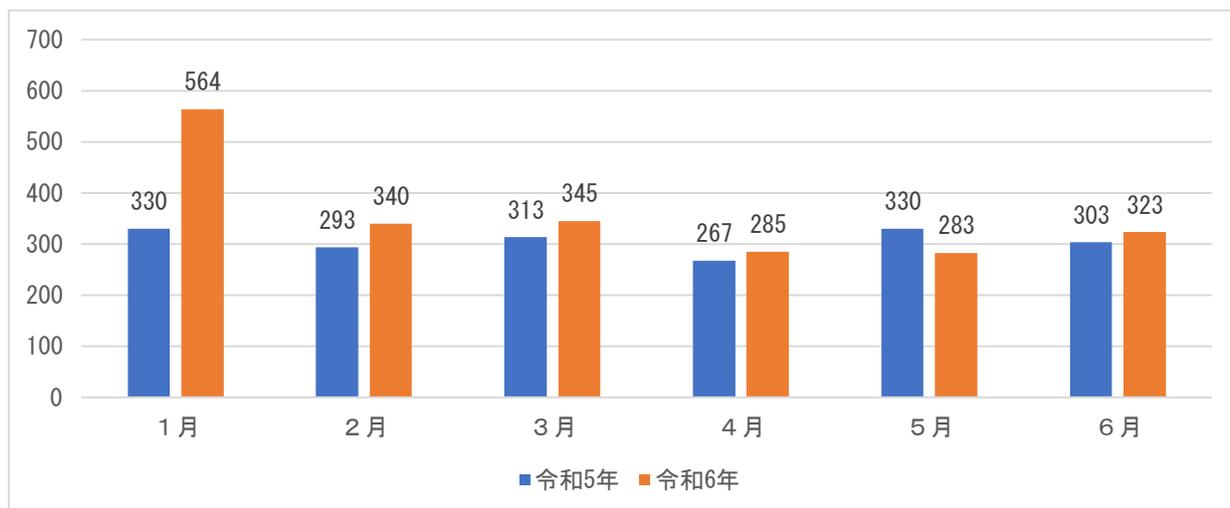


# I 119 番通報

## ① 119 番通報は 304 件増加

119 番通報件数は 2,140 件で、前年（1,836 件）より 304 件増加しています。

月別 119 番通報受信件数(前年比)



## ② 119 番通報のうち約 6 割が救急関係

119 番通報のうち、災害事案に関する通報は 1,448 件で、前年（1,182 件）より 266 件増加しています。119 番通報のうち、「救急関係」の通報が最も多く、1,375 件で通報全体の約 6 割を占めています。また、「問合せ」、「いたずら」、「まちがい」などの緊急性のない通報が 692 件となっています。

## ③ ドクターヘリの出動件数

石川県ドクターヘリの要請件数は 27 件、実際に連携したのは 16 件となり、前年同期比で要請件数は 17 件減少、実際に連携した件数は、6 件の減少となりました。

## ④ まとめ

今年の上半期は前年に比べ通報件数が 304 件増加しました。まちがいでの通報件数が 49 件減少しています。これは、1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震の影響で 1 月の 119 番通報が増加していることが要因と考えられます。発災直後の 30 分以内で 25 件、1 時間以内で 39 件の着信があり、ピーク時は 10 分間で 10 件の着信がありました。

## Ⅱ 火災



### ① 火災件数について

火災件数は 10 件、前年（13 件）より 3 件減少しています。

火災種別では、「建物火災」が 4 件（前年 8 件）、「その他の火災」 2 件（前年 1 件）、「林野火災」 3 件（前年 1 件）、「車両火災」 1 件（前年 3 件）でした。

市町ごとにみると、「羽咋市」 3 件（前年 4 件）、「宝達志水町」 1 件（前年 5 件）、「志賀町」 6 件（前年 4 件）でした。

令和6年中(1～6月)の火災発生状況前年比較表

市町別	年	火災件数						焼損面積			損害額(千円)					焼損棟数				死傷者数			
		計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物		林野(a)	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者
								床面積(m <sup>2</sup> )	表面積(m <sup>2</sup> )														
羽咋市	R6年	3	1				2	3	3		1,917	535				1,382	3		2	1			
	R5年	4	3		1			221			15,754	15,704	50				3	2	1			2	
	比較	△ 1	△ 2		△ 1		2	△ 218	3		△ 13,837	△ 15,169		△ 50		1,382		△ 2	1	1		△ 2	
宝達志水町	R6年	1	1						3		45	45					1		1				
	R5年	5	2	1	1		1	2	1	2	252	40	112	100			2		1	1			
	比較	△ 4	△ 1	△ 1	△ 1		△ 1	△ 2	2	△ 2	△ 207	5	△ 112	△ 100		△ 1				△ 1			
志賀町	R6年	6	2	3	1			441	85	7	51,964	51,457	99	372		36	8	2	2	4		1	2
	R5年	4	3		1			622	63	24	32,624	32,432	80	50		62	10	3		5	2	2	1
	比較	2	△ 1	3				△ 181	22	△ 17	19,340	19,025	19	322		△ 26	△ 2	△ 1	2	△ 1	△ 2	△ 1	1
計	R6年	10	4	3	1		2	444	91	7	53,926	52,037	99	372		1,418	12	2	2	7	1	1	2
	R5年	13	8	1	3		1	845	64	26	48,630	48,176	192	200		62	15	3	2	7	3	4	1
	比較	△ 3	△ 4	2	△ 2		1	△ 401	27	△ 19	5,296	3,861	△ 93	172		1,356	△ 3	△ 1			△ 2	△ 3	1

※ △は減少(ー)を表します

### ② 原因について

出火原因の半数が枯草やごみ等の焼却行為に起因するものでした。焼却行為から建物へと延焼する火災も発生しました。廃棄物の処理及び清掃に関する法律で原則、焼却行為は禁止されております。火災発生を防ぐため、安易に枯草やごみ等を焼却しないようにしてください。

### ③ 損害について

損害額 53,926 千円、前年同期比 5,296 千円の増額となりました。火災件数は減少したものの、各火災種別の損害額が全体的に増加しています。

#### ④ 死傷者について

火災により1名の方が亡くなり、2名の方が負傷しました。

#### ⑤ まとめ

上半期の火災件数は昨年同期比3件減の10件であり、震災に伴った火災は、発生しませんでした。出火原因は、半数の5件が枯草やごみ等の焼却行為に起因したもので、震災から少し落ち着いてきた頃に散見されております。

また、火災により1人の尊い命が失われております。下半期は、1件でも火災の発生を防ぐことができるよう広報するほか、震災に伴って建設されている応急仮設住宅の防火対策の強化を図り、羽咋郡市の安全・安心のため活動してまいります。

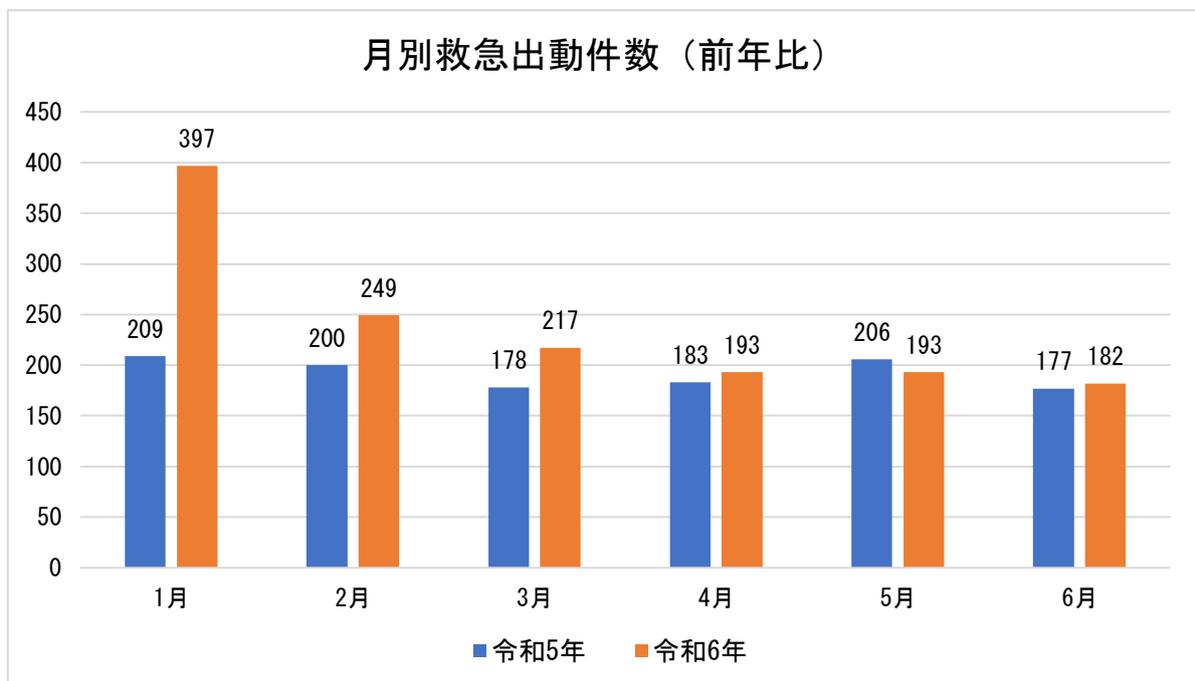
### III 救 急



#### ① 救急出動件数は前年より278件増加

救急出動件数は1,431件で、前年(1,153件)より278件増加しています。

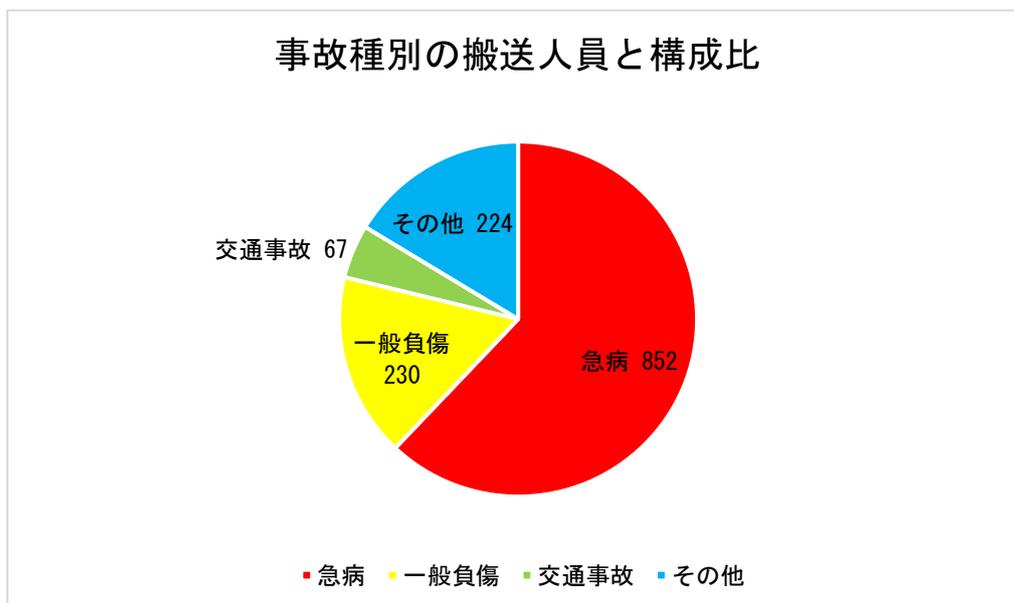
また、救急搬送人員は1,373人で、前年(1,085人)より288人増加しています。



#### ② 事故種別救急搬送 1位「急病」、2位「一般負傷」、3位「交通事故」

事故種別ごとの救急搬送人員は、1位が「急病」852件、2位が「一般負傷」230件、3位が「交通事故」67件、その他が224件の順となっています。

事故種別の搬送人員と構成比

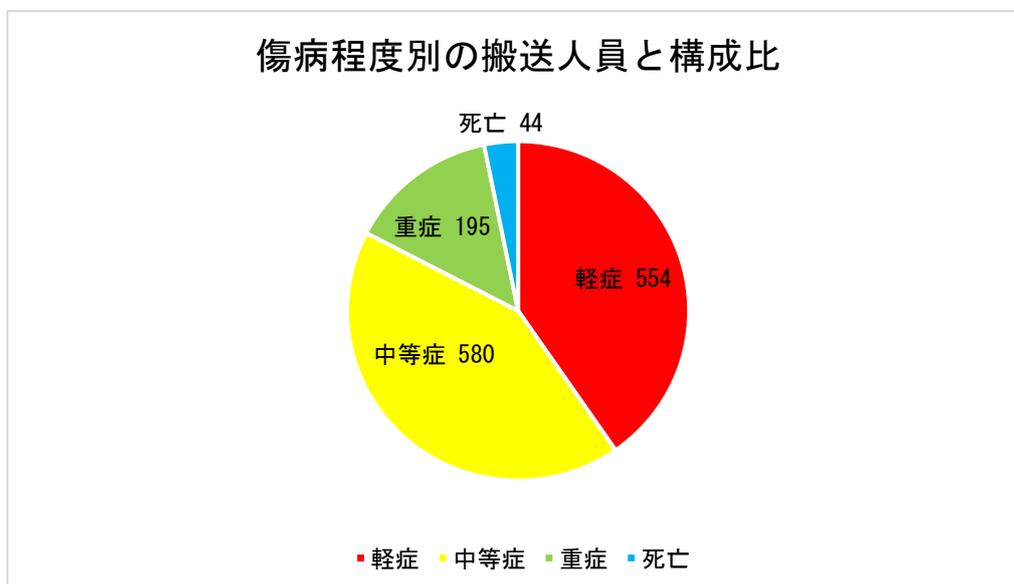


### ③ 救急搬送人員の約8割が軽症又は中等症

傷病程度別による搬送人員は、軽症が 554 人、中等症が 580 人、重症が 195 人、死亡が 44 人でした。軽症及び中等症が 1,134 人で、全体の約 8 割を占めています。

前年は、軽症が 434 人、中等症が 448 人、重症が 162 人、死亡が 41 人でした。軽症及び中等症の合計が前年（882 人）に比べ 252 人増加しています。

傷病程度別の搬送人員と構成比



### ④ 能登半島地震による救急搬送業務への影響

令和 6 年 1 月 1 日能登半島地震の発生に伴い、令和 6 年 1 月の救急出動件数が例年に比べて大幅に増加しました。地震が直接影響した救急事案や避難所からの救急要請等、令和 6 年 1 月における能登半島地震に関連した救急出動件数は 119 件、救急搬送人員は 119 人となりました。

## ⑤ まとめ

令和6年1月1日の能登半島地震の影響により、救急出動件数及び救急搬送人員は例年に比べて大幅に増加しました。また、救急搬送人員における軽症及び中等症の割合は、それぞれを合わせると約8割を占めています。引き続き、圏域住民に対して救急車の適正利用を呼び掛け、理解と協力を求めている必要があります。



## IV 救 助

### ① 救助出動件数及び救助件数

救助出動件数は18件で、前年（18件）と同じ件数となりました。

また、救助活動件数は7件で、前年（10件）より3件減少しています。

事故種別		件数等		救 助 人 員		
		出動件数	活動件数	合計	男	女
前 の 年 比 と 較	令和5年	18	10	7	6	1
	令和6年	18	7	9	6	3
火 災	建 物	1	1			
	建物以外					
交 通 事 故		7	2	3	1	2
水 難 事 故		1				
風 水 害 等 自 然 災 害		5	3	4	3	1
機 械 に よ る 事 故						
建 物 等 に よ る 事 故		2				
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故						
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故		2	1	2	2	

### ② 事故種別出動件数

事故種別出動件数は、交通事故が7件で全体の約4割を占め、令和6年1月1日の能登半島地震による風水害等自然災害が5件となりました。建物等による事故及びその他の事故が2件、火災（建物）及び水難事故が1件となっています。

事故種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	事 機 械 に よ る	事 建 物 等 に よ る	事 ガ ス 及 び 酸 欠 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	
	建 物	建 物 以 外										
月 別	1月				5						5	
	2月		2							1	3	
	3月		1				1				2	
	4月											
	5月			3				1				4
	6月	1		1	1						1	4
合 計	1		7	1	5		2			2	18	

### ③ まとめ

令和6年の上半期は、救助出動件数が昨年と同様の件数となりました。過去5年間と比較して増加傾向にある主な要因として、昨年から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へと変更されたことに伴い、外出自粛要請がなくなり、人の流れが増加したこと、1月1日の能登半島地震による風水害等自然災害が増加したこと等が影響していると考えられます。

事故種別		年 別				
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
合 計		10	10	10	18	18
火 災	建 物				2	1
	建物以外					
交 通 事 故		7	3	6	8	7
水 難 事 故		1		1	4	1
風水害等自然災害						5
機械による事故					1	
建物等による事故		1	3	1	2	2
ガス及び酸欠事故						
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故		1	4	2	1	2

# 屠 龍 技



～プロとして、災害に備え常に訓練を重ねる～